令和6年度
シラバス

海洋科2年

福島県立小名浜海星高等学校

< 観点別評価・評定の算出方法 >

(1) ①～③の観点別評価は、それぞれを100点満点とし、以下の到達度に応じて観点別評価をします。

観点別の点数	評価
72.6 ～ 100	A
37.6 ～ 72.5	B
0 ～ 37.5	C

(2) ①～③の観点別の点数を合計(300点満点)し、3で割った点数が評点となり、5段階評価に使用されます(小数点以下四捨五入)。

(3) 以下の表に基づいて評点から評定を算出します。評定「1」は欠点となり、単位不認定となります。

評点	評定
80 ～ 100	5
65 ～ 79	4
45 ～ 64	3
30 ～ 44	2
0 ～ 29	1

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2
対象クラス	海洋科2年		授業担当者	永瀬 雄次	

1 授業の内容と目標

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言語感覚を磨き、言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度、提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	小テスト、授業態度、提出物

教科	公民	科目	公共	単位数	2
対象クラス	海洋科2年		授業担当者	深谷恵子	

1 授業の内容と目標

- (1) 現代の日本の社会に生きる一員としての基本的知識を身につける。
- (2) 社会に参画する主体として、社会情勢に興味を持ち、諸問題について考え、どのように行動すべきか考えられるようにする。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	90%	10%	定期考査、小テスト、提出物、授業態度
②	思考・判断・表現	80%	20%	定期考査、小テスト、提出物、授業態度
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	提出物、授業態度

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	2 (3)
対象クラス	海洋科 2年		授業担当者	安島 久美子	

1 授業の内容と目標

- (1) 図形と計量：測量のために生み出された三角比について学びます。三角比の性質や求め方について学び、測量の考え方に繋がります。角の大きさや辺の長さを求められることが目標です。
- (2) 方程式：負の数の平方根、式の割り算、方程式について学び、計算ができるようにします。
- (3) 三角関数：度からラジアンへ、角の新しい表し方である弧度法について学び、三角関数のグラフの性質を学びます。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査、小テスト、ワークシート
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査、小テスト、ワークシート
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	ノート、行動観察、発表、自己評価

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2
対象クラス	海洋科 2年		授業担当者	古川佳世子	

1 授業の内容と目標

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付ける。
- (2) 生物や生物現象に関する観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付ける。
- (3) 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

2 評価の観点

- ① 知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期考査・小テスト
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期考査・小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・実験態度・提出物

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2
対象クラス	海洋科2年		授業担当者	坂本・清水	

1 授業の内容と目標

陸上競技、体づくり運動、球技、水泳、ダンスなど様々な運動を通して楽しさや喜びを味わう授業です。次のことを目標とします。

- (1) 約束事やルールを守る態度の確立
- (2) 健康・安全に気をつけて、仲間と協力して、自己の役割を果たす態度を育てる
- (3) 体の調子を整え、体力の向上を図る

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	学習カード、スキルテスト、授業態度
②	思考・判断・表現	0%	100%	学習カード、授業態度
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	学習カード、授業態度

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1
対象クラス	海洋科2年		授業担当者	蛭田 昌幸	

1 授業の内容と目標

健康を成り立たせる要因について学び、自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・や能力を育成する。

- (1) 我々の身に起こりえるや健康課題や社会の課題を学び、仲間と協力して解決方法を模索する。
- (2) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	70%	30%	学習ノート、定期考査、授業態度、提出物
②	思考・判断・表現	70%	30%	学習ノート、定期考査、授業態度、提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	学習ノート、授業態度、提出物

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	1 (2)
対象クラス		海洋科2年		授業担当者	小森 貞子

1 授業の内容と目標

- (1) 英語を読んで（聞いて）内容を理解し、学習内容について英語で話したり書いたりすることができる。
- (2) 英語でお互いの意見をやりとりし、相手に自分の考えや気持ちを伝えられるようになる。
- (3) 授業で学んだことを生かして自分の考えや気持ちをまとめた英文で表現できるようになる。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査・小テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	80%	20%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	20%	80%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物

教科	水産	科目	課題研究（一海特）	単位数	1
対象クラス		海洋科2年		授業担当者	手代森

1 授業の内容と目標

- (1) 第一級海上特殊無線技士の英語を主に学習します。通信英語に使用される通信符号や緊急信号、呼出応答の方法や一般通信方法など、英語での通信を円滑に行う方法について学びます。（知識・技術）
- (2) 位置通報や緊急通信については、教科書に掲載された通信文例と全く同じ状況は存在せず、その時・その状況に応じて考えながら通信しなければならないため、自分が伝えたいことを間違いなく伝えられるよう基本と応用をしっかりと定着させられるようにしてください。（思考・判断・表現）
- (3) 教科書に掲載された通信文例を声に出して読んだり、隣の席同士で通信の練習を行うなどの学習を多く取り入れます。しっかりと声を出して良く読み、少しでも自分の通信技術を向上させられるよう前向きに取り組んでください。（主体的に学習に取り組む態度）

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	確認テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	0%	100%	確認テスト・授業態度
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	確認テスト・授業態度

教科	水産	科目	海洋情報技術	単位数	2
対象クラス	海洋科2年		授業担当者	鈴木 毅 他	

1 授業の内容と目標

- (1) Excel を使い四則演算などの技術を身につける
- (2) Excel を利用しグラフや表を作成し読み取ることができるようにする
- (3) プログラミング言語の基礎的な内容を理解する

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期テスト・小テスト・授業内の発言など
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期テスト・小テスト・授業内の発言など
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・提出物

教科	水産	科目	航海・計器（航海）	単位数	2単位
対象クラス	海洋科2年		授業担当者	根本大士	

1 授業の内容と目標

- (1) 船舶に必要な各種航法や航海計器といった航海の基本的な内容を定着するとともに、それらに関連する課題を発見し、解決する力を養います。
- (2) 航海に必要な各種情報の収集や整理の重要性を理解し、船舶の安全かつ適切な航海を実現できるように自ら学び、より専門的な知識や技術を習得します。
- (3) 水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を適宜行いながら、漁船等の船舶を航行させるために必要な資質・能力の育成を目指します。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期考査・小テスト・レポート・授業態度
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期考査・パフォーマンス課題・授業態度 ノートへの記述
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・ノートへの記述 ※①と②の観点の状況を踏まえて評価

教科	水産	科目	航海・計器（海図）	単位数	2
対象クラス	海洋科2年	授業担当者	安藤 信		

1 授業の内容と目標

- (1) 緯度、経度の読み方から、測り方、更にはデバイダーと三角定規の扱い方といった基礎的・基本的な技術を身に付けていく。それらが定着した段階で、基本的な作図の仕方を学んで練習問題を解いていく。様々な作図法を身に付けるとともに、問題に適した作図法を見出して解ける力を養っていく。
- (2) 2単位の授業なので週2時間の授業となる。そのため、2単位（年間70時間）の1/5（14時間）欠時を越えると未履修となり、不認定になる。欠席が連続で続くとすぐに欠時数が増えてくるので十分注意が必要である。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点	各観点における評価配分		評価項目
	考査	平常点	
① 知識・技能	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度
② 思考・判断・表現	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度、提出物
③ 主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	小テスト、授業態度、提出物

教科	水産	科目	航海・計器（法規）	単位数	1（2）
対象クラス	海洋科2年	授業担当者	梅澤利夫		

1 授業の内容と目標

- (1) 海上衝突予防法及び同法施行規則に関する法律を理解し、活用できるようにする。
- (2) 海上交通安全及び同法施行規則に関する法律を理解し、活用できるようにする。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点	各観点における評価配分		評価項目
	考査	平常点	
① 知識・技能	70%	30%	定期考査、小テスト
② 思考・判断・表現	50%	50%	定期考査、宿題等
③ 主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業に取り組む態度（発言）、提出物

教科	水産	科目	船舶運用（運用）	単位数	2単位
対象クラス		海洋科2年		授業担当者	久野文教

1 授業の内容と目標

- (1) 船舶に必要な設備や船務といった船舶を安全かつ適切に運用するための、基本的な内容を定着するとともに、それらに関連する課題を発見し、解決する力を養います。
- (2) 船舶を安全かつ適切に運用するための操船方法の重要性を理解し、船舶の安全かつ適切な運用を実現できるように自ら学び、より専門的な知識や技術を習得します。
- (3) 水産の見方・考え方について、実践的・体験的な学習活動を適宜行いながら、実際に漁業生産など海上業務を活用するために必要な資質・能力の育成を目指します。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期考査・小テスト・レポート・授業態度
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期考査・パフォーマンス課題・授業態度 ノートへの記述
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・ノートへの記述 ※①と②の観点の状況を踏まえて評価

教科	水産	科目	船舶運用（海上気象）	単位数	1（2）
対象クラス		海洋科2年		授業担当者	馬上 吉晴

1 授業の内容と目標

- (1) 気象要素（気温、湿度、気圧、風、雲、降水、視程）についての知識を持つ。
- (2) 5つの気団の性質と対応する高気圧について理解する。
- (3) 高気圧と低気圧の性質を理解する。
- (4) 台風とその性質について理解する。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	50%	50%	定期考査、小テスト、ノート
②	思考・判断・表現	50%	50%	定期考査、小テスト、ノート
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	小テスト、ノート、授業態度

教科	水産	科目	海洋生物	単位数	2単位
対象クラス		海洋科2年		授業担当者	久野文教・根本大士

1 授業の内容と目標

- (1) 海洋生物について体系的・継続的に理解するとともに、関連する技術を身につけます。
- (2) 海洋生物に関する課題を発見し、水産や海洋での諸活動を安全かつ適切に行う者として合理的かつ創造的に解決する力を養います。
- (3) 水産や海洋における海洋生物の活用を目指して自ら学び、体験実習を通じて水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	40%	60%	小テスト・レポート・授業態度・定期考査
②	思考・判断・表現	40%	60%	パフォーマンス・授業態度・定期考査
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・実習 ※①と②の観点の状況を踏まえて評価

教科	水産	科目	ダイビング	単位数	2単位
対象クラス		海洋科2年		授業担当者	坂田了・伊東嘉己

1 授業の内容と目標

- (1) ダイビングについて体系的・継続的に理解するとともに、関連する技術を身につけます。
- (2) ダイビングに関する課題を発見し、水産や海洋での諸活動を安全かつ適切に行う者として合理的かつ創造的に解決する力を養います。
- (3) 水産や海洋におけるダイビングの活用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における評価配分		評価項目
		考査	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	小テスト・レポート・授業態度
②	思考・判断・表現	0%	100%	パフォーマンス・授業態度
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度 ※①と②の観点の状況を踏まえて評価